

# 建築用メッシュシート



## 使用基準

### |1| 適用

この基準は(一社)仮設工業会の認定メッシュシートの使用方法について定める。

### |2| 取付方法

メッシュシートを鋼管足場又は鉄骨の外周等に取り付ける場合は、次によるものとする。

- (1)メッシュシートを取り付けるための水平支持材は、原則として垂直5.5m以下ごとに設けること。(図-1参照)さらに鉄骨外周等に用いる場合、垂直支持材の水平方向の取付間隔は、4m以下とすること。(図-2参照)
- (2)メッシュシートと支持材の取り付け及びメッシュシート相互の取り付けは、メッシュシートの縁部で行うものとし、緊結材を使用して、すべてのはとめについて、容易にはずれないように行うこと。
- (3)緊結材は、引張強度が0.98kN以上のものを使用すること。
- (4)出隅部、入隅部等の箇所は、その寸法に合ったメッシュシートを用いてすき間のないよう取り付けすること。

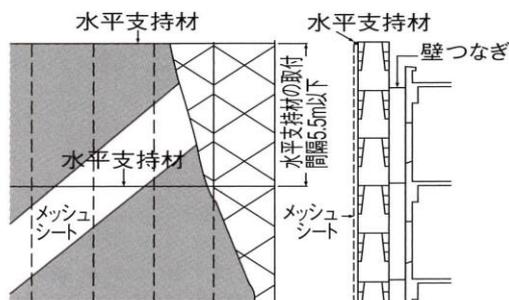


図1 鋼管足場への設置例

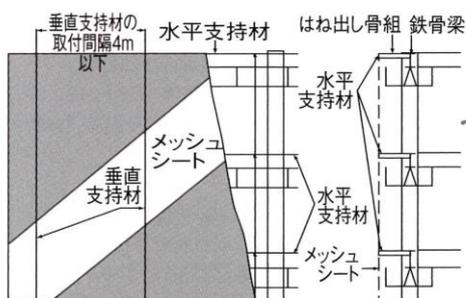


図2 鉄骨外周部等への設置例

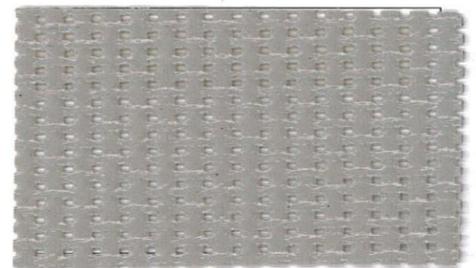
## 規格寸法

### サイズ(インチ)ヒラ付

1.82 X 5.1
1.52 X 5.1
1.21 X 5.1
0.9 X 5.1
0.6 X 5.1
0.3 X 5.1

仮設工業会認定適合品(※1)

## # 1034



材質 基布:ポリエステル100%  
樹脂:ポリ塩化ビニル(PVC)



**アサヒシート株式会社**

本社 〒542-0081  
大阪府大阪市中央区南船場2丁目9-8  
シマノ・住友生命ビル4F  
TEL 06-6241-1011 FAX 06-6241-1022

関東営業所 〒331-0813  
埼玉県さいたま市北区植竹町1-820-6  
TEL 048-782-9630 FAX 048-782-9632

## ●規格・物性データ

品番	巾X長さ (cm) (m)	質量 (g/m <sup>2</sup> )	密度		引張強さ				伸び		引張強さX伸び				落下試験 ※1	防災登録番号 防災製品番号
			タテ	ヨコ	タテ		ヨコ		タテ	ヨコ	タテ		ヨコ			
	本/2.54cm	本/2.54cm	kgf/3cm	N/3cm	kgf/3cm	N/3cm	mm	mm	kgf・mm	KN/mm	kgf・mm	KN/mm				
#1034	189X52乱	470	11	11	220	2156	220	2156	42	47	9240	90.6	10340	101.3	4m貫通せず	CT910013F-13025
試験方法	JIS L 1096				JIS L 1096A				JIS A 8952							

\*上記物性データはJIS・(一社)仮設工業会・(公財)日本防災協会の定める測定法に基づいた測定値です。

※1 水平に対し30C° 鋼管落下(鋼管重量は4.8kg)

本カタログ中のデータに適合しない使用条件で製品を加工または使用すると事故やケガの原因になります。

必ず、データに適合する使用条件で製品を加工または使用してください。

## ●(参考) (一社)仮設工業会認定基準

項目	認定基準
引張強さX伸び N・mm	68600以上
引張強さ N/3cm	1471以上
はとめの強さ N	981以上
防災性	合格
落下試験	4m合格

仮設工業会認定品とは、メッシュシートについて規定されている構成部品・規格に適合し、認定工場で縫製され認定試験に合格したものです。

※ターポスクリーン#1034は、構成部品メッシュシートとして認定基準に合格しています。

## ●風圧データ (当社製品と市販ターポリンのデータ比較)

品番	項目	充実率	基本風力係数	風圧抵抗※(kg/m <sup>2</sup> )			
				風速10m/s	20m/s	30m/s	40m/s
#1034		0.900	1.87	11.7	46.8	105.2	187.0
ターポリン		1.000	2.00	12.5	50.0	112.5	200.0

◎充実率につい充実率とは、メッシュの占める実面積の割合を表すもので、これにより風力係数が決まります。

$$\text{充実率} = \frac{\text{網の実面積}}{\text{網の外郭面積}}$$

※上記風圧抵抗データは、外気温15°C気圧1013hpa(760mmHg)の条件で、それぞれの風速の風を試験体正面に受けた場合の計算値です。

## 注意事項

- 本カタログに記載している製品は日本国内向けです。
- 使用前に必ず品名・品番・色合・ロットNo.・規格を確認して下さい。
- 保管は、高温多湿をさけ、冷暗で平坦な場所に置き、変形するような積み方はしないでください。
- 長期間保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無を確認してください。
- 極低温・極高温むけに設計はされておりませんので、そのような用途に使用の場合は必ず弊社まで相談してください。
- 高周波ウェルダで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が附着していると、稀にスパークを起こすことがありますので、ウェルダバー及び膜材料の溶着部分に附着物の無い状態で溶着してください。
- 印刷する場合は、印刷性を事前に確認してください。
- 洗浄する場合は、表面を浸さないように中性洗剤を浸した柔らかいスポンジ等で拭き取ってください。あとは十分に水洗いしてください。
- サンプルの色相は、出荷時の現物の色相と若干違いのある場合があります。予めご了承ください。
- 廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
  - 廃棄処理法、都道府県条例などに従って処理してください。
  - 認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 問い合わせ、より詳しい資料が必要でしたら、弊社まで連絡してください。
- 本カタログの記載内容は改善のため事前の予告なしに変更することがあります。

